

伝え方を改革できれば、働き方も改革できる。 **企業広告シリーズ展開をスタート**

－ 11 月 15 日発売「月刊 経団連 11 月号」にシリーズ初回を広告掲載 －

PRが働き方改革に貢献できる、
なんて誰も思っていない。

でも、本当はそうじゃない。

プレスリリースを出すことで、

社内の人たちの気持ちが

一つにまとまることもあります。

伝え方が変わることで、

個人の価値が発揮され、

社内環境が変わることもある。

「PRなら広告費よりも安く広まる」

というイメージだけが

まだ先行しているのは悔しい！！

いや、それもきっと

PR TIMESの責任です。

伝え方を改革できれば、働き方も改革できる。 PR TIMES

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922）は、一般的には認知されていないが本来 PR が持っている大きな可能性について、社会課題である働き方改革をテーマに訴求する企業広告「伝え方を改革できれば、働き方も改革できる。」のシリーズ展開を2021年11月15日（月）より開始いたします。

当社は同シリーズ初回となる企業広告を、一般社団法人日本経済団体連合会（東京都千代田区、会長：十倉雅和）が発刊する機関誌「月刊 経団連 11 月号」（2021 年 11 月 15 日発売）へ掲載いたしました。このシリーズ広告は PR（パブリック・リレーションズ）と働き方改革のつながりを共通テーマとしながら、各回異なる切り口とメッセージで気付きをお届けできるようシリーズ展開いたします。次回は「月刊 経団連 1 月号」（2022 年 1 月 1 日発売予定）へ掲載を予定しています。

また、シリーズ展開する場を誌面広告だけに限定するのではなく、他にも形を変えて派生展開することを構想しています。具体的な形が決まりましたら改めてお知らせいたします。

PR が働き方改革に貢献できる、
なんて誰も思っていない。

でも、本当はそうじゃない。
プレスリリースを出すことで、
社内の人たちの気持ちが
一つにまとまることもあります。
伝え方が変わることで、
個人の価値が発揮され、
社内環境が変わることもある。

「PR なら広告費よりも安く広まる」
というイメージだけが
まだ先行しているのは悔しい！！
いや、それもきっと
PR TIMES の責任です。

伝え方を改革できれば、働き方も改革できる。 PR TIMES

【「月刊経団連 11 月号」掲載】

【制作スタッフ】

クリエイティブディレクター／コピーライター： 武藤雄一 （武藤事務所株式会社）
アートディレクター／デザイナー／イラストレーター： 三好愛 （アイルクリエイティブ株式会社）
アシスタント： 石黒早恵実 （武藤事務所株式会社）
企画：株式会社 PR TIMES
制作：武藤事務所株式会社

シリーズを通して伝えたい本来 PR が持つ大きな可能性

PR（パブリック・リレーションズ）は、企業を取り巻くステークホルダーとの関係構築の考え方や活動などと一般的に言われますが、その概念が奥深いがゆえに解釈の幅が広い言葉です。企業や団体が活動するうえで欠かせない思想であり、特に社会とのつながりや信用が問われる現代において、その重要性はますます高まっています。一方で、宣伝・広告を表すプロモーションを表す言葉と混同されることも多く、一般的な認知として十分に本来 PR が持つ大きな可能性が伝わっていないという課題があります。

当社は、まず企業を取り巻くステークホルダーのうち最も身近な存在である社員との関係を対象に、近年の社会課題である働き方改革について、PR とのつながりを切り口に問いかけることで、PR が果たせる役割の大きさについて改めて目を向けていただくきっかけをつくり出そうと考えました。

伝え方に着目することで、これまでうまく進められず滞ってしまいがちだった社内改革を再始動させることができる、そのような気付きをもたらすメッセージを当社はシリーズを通して発し続けたいと考えています。企業規模や流行を問わない普遍的な思想として PR を知り、活用する企業が増えるよう当社は伝え続けてまいります。



大声を出す、
のではなく、
届く声を出す。

PR を民主化するための活動について

PR（パブリック・リレーションズ）は、企業とそこに所属する個人にとって大切な存在との間でなされる、お互いに有意義な関係を築くためのコミュニケーションを起点としたあらゆるプロセスです。社会の声に耳を傾けて、自らを取り巻く環境や社会における自らの存在を把握し、それらに応えるように行動し、自ら変化した結果を伝えていく絶え間ない実践の積み重ねです。

当社は、PR が持つ可能性と果たせる役割に共鳴し、それをより広く伝えることで多くの企業と個人が PR 活動できる状態、いわば PR の民主化を進めることで社会が前進できると信じて、そのための活動をこれまでも行ってきました。今後も PR が本来持つ価値を伝え続けてまいります。

【活動例】

2011 年の東日本大震災以降、大規模な災害が起きた場合には復興関連のプレスリリース発信を無料提供しています。2017 年の京都銀行との業務提携以降、地域の事業者の情報発信を促すために地銀等との提携を進め、現在までに地方金融機関 32 例（24 行・8 信金）、地方メディア 8 媒体、地方自治体 1 府 3 市、合計 44 例へ連携を拡大しています。2018 年に「SPORTS TIMES」を発足し、スポーツチームが自ら情報発信する支援を行っており参画チームは 100 を超えています。2020 年に「PR、14 の使命」を発表し、改めて当社が考える PR の可能性と覚悟を言葉にして問いかけ、お客様やメディアと共創した 415 の使命にも発展させています。2020 年にコロナ禍で苦しむ事業者が無料で PR 相談できる「4 MEETS プロジェクト - 出会う PR -」を立ち上げた他、2021 年にその意志を継いで飲食店向けに「食べ物語」プロジェクトを発足しています。

（ご参考：発表当時のプレスリリース）

2011 年 3 月 14 日 東日本大震災の関連プレスリリース無料提供

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000211.000000112.html>

2017 年 5 月 8 日 京都銀行業務提携

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000765.000000112.html>

2018 年 8 月 20 日「SPORTS TIMES」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000879.000000112.html>

2020 年 8 月 24 日「PR、14 の使命」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001013.000000112.html>

2020 年 4 月 30 日「4 MEETS プロジェクト - 出会う PR -」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000989.000000112.html>

2021 年 11 月 10 日「食べ物語」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001134.000000112.html>

PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」を 2007 年 4 月より運営しています。報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は 2021 年 8 月に 5 万 8000 社を突破、国内上場企業 47% 超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者 2 万人超、サイトアクセス数は 月間 5000 万 PV を突破、配信プレスリリース件数は 累計 100 万件を超えています。全国紙 WEB サイト等含む パートナーメディア 200 媒体以上にコンテンツを掲載しています。

クライアントとメディアのパートナーとして広報 PR 支援を行う PR パートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やクラウド情報整理ツール「Tayori」の運営も行っています。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証一部 証券コード：3922）

所在地：東京都港区南青山 2-27-25 ヒューリック南青山ビル 3F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：
- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- 広報・PR の効果測定サービス「Web クリッピング」(<https://webclipping.jp/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
- クラウド情報整理ツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES